

JACA No.20-1987

感染動物用クラスⅡ安全キャビネット規格

1. 適用範囲
 2. 用語
 - 2.1 バイオハザード
 - 2.2 障壁
 - 2.3 安全キャビネット形感染動物飼育装置とその分類
 - 2.4 汚染プレナム
 - 2.5 飼育作業台
 - 2.6 飼育作業内壁面
 - 2.7 飼育区域
 - 2.8 前面開口部
 3. 性能
 - 3.1. 気密度
 - 3.2. 気流バランス
 - 3.3. HEPA の透過度
 - 3.4. 風速
 - 3.5. 気流方向
 - 3.6. 温度上昇
 - 3.7. 騒音レベル
 - 3.8. 振動
 - 3.9. 安定度
 - 3.10. 漏電・接地抵抗
 4. 材料
 - 4.1 基本事項
 - 4.2 飼育作業内壁面
 - 4.3 外部表面
 - 4.4 窓
 - 4.5 ガasket・シール剤
 5. 構造
 - 5.1 清掃と滅菌に対する考慮
 - 5.2 動物の逃亡に対する考慮
 - 5.3 飼育作業台及び飼育作業内壁面の角
 - 5.4 溶接
 - 5.5 送風機
 - 5.6 電気部品及び配線
 - 5.7 HEPA フィルタのモニタ
 - 5.8 積算運転のモニタ
 - 5.9 サンプリグロ
 - 5.10 据付
 6. 試験方法
 - 6.1 気密度試験
 - 6.2 HEPA フィルタの透過率
 - 6.3 気流バランス
 - 6.4 風速試験
 - 6.5 気流方向試験
 - 6.6 温度上昇試験
 - 6.7 騒音レベル試験
 - 6.8 振動試験
 - 6.9 安定度試験
 7. 表示・取扱説明書
 - 7.1 仕様銘板
 - 7.2 配線図
 - 7.3 取扱説明書
- 参考資料 感染動物実験における安全対策